

# 朗読者・絵本専門士の派遣レポート Vol.4

## 冬の特設展関連イベント朗読会

### 「世にも奇妙な物語ー蠢く春に怪談をー」

文字・活字文化推進機構では読書推進の一環として、全国の文学館・美術館・博物館などで開催されるイベントへの朗読者・絵本専門士の派遣をお手伝いさせていただいております。

2025年2月23日に、谷崎潤一郎記念館の冬の特設展「幻想・怪奇・グロテスク～暗黒と流血の谷崎潤一郎～」の関連イベントとして、文豪たちの怖くて奇妙な話を3作品紹介する学芸員の解説付き朗読会「世にも奇妙な物語ー蠢(うごめ)く春に怪談をー」を谷崎潤一郎記念館と隣接する芦屋市立美術博物館の講義室にて開催しました。朗読を担当したのは第7期修了生・小原由美さん。当初は30名の定員でしたが、応募多数のため会場をご変更くださり、当日は60名というたくさんの方のご参加をいただきました。



イベント当日の様子

#### 【小原由美さんの朗読作品】

『妙な話』 (芥川龍之介)  
『卵』 (夢野久作)  
『人面疽』 (谷崎潤一郎)

#### ▶朗読者・小原由美さんの感想・コメント

芥川龍之介「妙な話」、夢野久作「卵」、谷崎潤一郎「人面疽」の3作の朗読のご依頼を受け、各作品を約20分ずつ読ませていただきました。

大正～昭和初期に作られた作品は、時代背景など読み解くには難しい部分もありましたが、学芸員の方と打ち合わせをさせていただきながら物語を紐解いて行きました。

繰り返し読むうちに、散りばめられた言葉に深い意味がこめられていることに気付き、文豪と呼ばれる方々の力を実感。とても勉強になりました。

本番当日はたくさんの方にお越しいただき、学芸員の方の興味深い解説と共に“世にも奇妙な物語”の世界を堪能していただけたのではないかと思います。

#### ▶ご担当者様からのメッセージ

朗読者・小原さんの、怖さをじわじわとにじませる、静かで迫力ある語り口が、今回の文豪たちの物語にぴったりとあい、その世界への没入感を味わえる雰囲気を作ってくださいました。ご参加の方からも「怖くて面白かった」という嬉しいお声をいただきました。

朗読者・絵本専門士の派遣事業では、2024年度は最大20館への派遣を予定しております。企画を検討されているご担当者様からのお問い合わせ・ご応募をお待ちしております。

詳しくはこちら！▶



<https://bit.ly/3z0J61V>